



# 子ども議会だより

届け。わたしのメッセージ

PUBLIC INFORMATION  
**聖籠町**

広報せいろう特別号



町のイメージキャラクター  
線丸

# 議会って何だるう？

8月23日(金)に開催された子ども議会。  
この機会に、改めて議会のこと、  
聖籠町のことを考えてみませんか？

## ☞ 地方自治・地方公共団体とは

その地域に住む住民がその地域の政治を自主的に行うことを**地方自治**といいます。

その地方自治を行う単位を**地方公共団体**または**地方自治体**といいます。聖籠町も地方公共団体の1つです。

地方公共団体は、**普通地方公共団体**（市町村や都道府県）と**特別地方公共団体**（東京都の特別区や地方公共団体の組合など）に分類されます。以下、普通地方公共団体のことを地方公共団体といいます。

地方公共団体は、地方議会とよばれる**議決機関**と、

その議決機関の決定にもとづいて実際の行政をすすめる**執行機関**とに分かれています。

## ☞ 執行機関が政策を実行

執行機関は**町長のほか、教育委員会、農業委員会など法律で定められた委員会や委員**です。

執行機関が、議会で決定した町の政策を実行しますが、その中でも町長が**聖籠町のまとめ役**であり、**聖籠町の代表**です。

なお、町長のみ住民の直接選挙で選ばれます。

## ☞ 議会の役割はさまざま

議決機関である**聖籠町議会**（聖籠町の地方議会）は、住民から選挙で選ばれた代表（議員といいます）で構成される合議体（※1）で、地方自治法という法律で設置が決められています。

聖籠町議会は**14名の議員**で構成され、任期は4年です。議会には次の役割があります。

①**住民を代表する機関**  
町長と同じく、議会議員

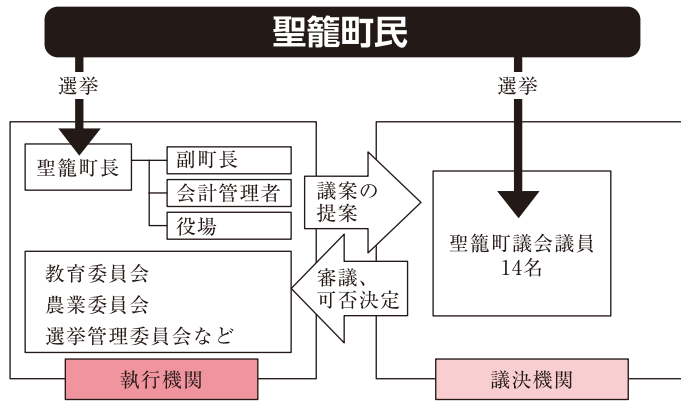
も住民が選挙で選ばれます。

このように聖籠町やほかの地方公共団体は、住民が地方公共団体の長と議決機関である議会議員をそれぞれ直接選挙で選び出す仕組みとなっていて、地方公共団体の長をはじめとする執行機関と議会は独立・対等の関係に立ち、お互いに緊張関係を保ちながら協力して自治体運営をしています。

議員は、住民を代表して、地域や住民の福祉の向上に努めることがその主な役割です。

②**聖籠町の意思を決定する機関**





議会は複数の代表で構成される合議体です。議会は、町長から議案として提案される予算（これからのお金を使いみちと金額）、決算（今までのお金の使いみちと金額）、条例（町のきまりごと）の制定（※2）と改廃（※3）、町が締結する契約などを審議（※4）しますが、審議の場に様々な町民の意見を反映させ、

意見を出し合い、その可否を決めることができます。議会は、住民に対する行政サービス提供の最終決定者であり、議会と町は、聖籠町の発展と住民福祉などの向上のため、お互いに知恵を出し合い協力しています。

### ③ 提言する機関

議会は、町長から提出された議案の可否を判断するだけではなく、議員も条例の制定と改廃を提案できます。また、議案を提案したり修正することで議会の意思を表明し、町の政策決定に大きく影響を与えることができます。

### ④ 執行機関を監視する機関

議会は、住民に代わって執行機関を監視・評価する機関でもあります。具体的な例として、一般質問、議案に対する質問、委員会

での審査、各部署での仕事の調査などが挙げられます。

### 子ども議会とは

子ども議会は、子どもたちに、「町づくりや町議会の仕組みを理解し、身近に感じてほしい」「普段はできない町への意見や提言を通して、大人と一緒に町づくりを考えるきっかけとしてほしい」という思いを込めて開催されました。

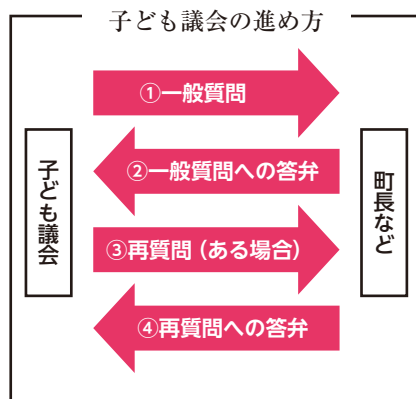
子ども議会では、聖籠町議会のように、子ども議員の皆さんに質問や提言をしていただき、その質問や提言に町長が答えました。

各学校で相談し、よく考えられた意見や、子ども議員自身の鋭い質問などは、子どもたちが聖籠町のことを真剣に考えていることと表れます。

4ページから、子ども議

員の質問と町長の答えを紹介しします。

※子ども議会では、子ども議員が町長に一般質問をし、それに町長が答えました。  
また、町長の答えを聞いて、再度質問したい場合は、一回だけ質問ができることとしました。  
通常の聖籠町議会では、町議会議員は再質問を2回することができます。



（※1）合議体：何人かの当事者が集まり、話し合いにより物事を決める団体。

（※2）制定：作って決めること。

（※3）改廃：変更したり廃止したりすること。

（※4）審議：内容がいかどうかを複数人で検討すること。

NEXT

子ども議員の一般質問の概要です。



# 名産品の果物の県内、県外へのPRを！

えだお そうた  
枝尾 颯汰 議員（蓮野小学校）

聖籠町のさくらんぼやブドウの知名度が低いように感じます。

そこで、蓮野小学校では、聖籠町でとれる果物をもつとアピールできる方法はないかと話し合いました。そこでは、ゆるキャラを考えたり、公募してみたりする、聖籠の果物を使ったスイーツやアイデア料理のコンクールを開催する、それらを県内外の人が集まるところでアピールするなどの考えが生まれました。おいしい果物がたくさんあるので、もっと多くの人に知ってほしいと思うのですが、聖籠町として名産品である果物をアピールしていく企画や予定はありますか。

**町長** 県外に向けてのPRとして、町では2年前から神奈川県横須賀市にある湘南学院高等学校の学院祭に参加しています。10月に開催されますので、ぶどうなどの果物を販売し、緑丸の着ぐるみや、聖籠太鼓響（さとおと）がステージに出て、聖籠町のPRをしておりま

いることを理解してもらおうということをやっています。このような取り組みを含め、今後も頑張っていきたいと思います。

それから、新発田市を中心として阿賀北首長会をつくりました。そして、お互いの市町村のいいものをアピールしていこうというところでいろいろとイベント化をしていこうと約束しています。新発田市で、「食King 阿賀北」というイベントが開催される予定ですが、阿賀北の聖籠町など7つの市町村が一緒にいいものをアピールしていこうと計画しております。あと、町内では、町の地場物産館で農家の皆さんが作った農産物などを販売しています。

また、聖籠町の場合、例えばさくらんぼでは、たくさん生産量を誇る山形などに比べて生産量が少ないです。たくさんPRして、ブランド化されてリピーターもできて多く、早く販売できたとしても、売るものがなくなってしまう。そのバランスを取りながら商品価値を上げ、品物が高く売れることが農家の皆さんにとって経営の安定になりますので、そのようなことをふまえて頑張っていきたいと考えております。



# 親しみやすく楽しい公共施設を！

えんどう のあ  
遠藤 乃愛 議員（山倉小学校）

1 公共施設の利用について

聖籠町には、体育館など充実した施設が整っていますが、利用する機会がありません。利用する機会がないのではないかと感じています。そこで、多くの人たちが使いやすく身近な施設にするために利用する機会が増えるようなイベントを開催したり、施設のよさをアピールする考えはあるでしょうか。

2 公共施設の遊び道具の利用について

町民会館の総合体育館では、借りられる道具が限られていたり、道具のサイズがあまりそろっていないかったり、時間が限られていて、思いつき遊びたくても遊ぶことができないと聞きました。施設の活用方法や用具の整備などについて、子どもたちがもつと楽しむことができるような考えがありますか。

**町長** 町では、スポネットせいろうなどと協力しながら、子どもからお年寄りまで参加できるスポーツイベントや遊び、スポーツの教室を町の施設で開催しています。

そして、町民会館のホームページで施設を紹介したり、スポレク祭などのイベントもやっております。毎

月発行の社会教育だよりやスポネットせいろうのチラシなどでイベントのお知らせもしています。せっかく町民の皆さんの大事なお金を使った施設ですから、使われなければその施設の価値がないので、皆さんに喜ばれる施設として地域に定着していけばありがたいなと思っています。

次に、放課後や休みの日には多くの子どもたちが町民会館で遊んでいるので、遊び道具の数や種類を増やしたりしていますが、特に夏休みはたくさんの子どもたちが集まり、道具の種類や数が足りなくなる場合があります。そのときは、使い方を工夫しながら楽しんでもらいたいと思います。

**再** より多くの人に町の施設を知ってもらうため、イベントを増やす予定はありますか。

**町長** （施設を知ってもらうような）イベントを企画したり提案していきたいと思いますが、教育委員会に考えてもらいます。

**教育長** 何をやらせたらよいかを皆さんに聞きながら、企画を考えていきたいと思っています。



# 東港のさらなる活性化を！

わたなべ ひなた  
渡辺 日向 議員（亀代小学校）

1 東港周辺の土地の利用について

テーマパークなどをつくることを提案します。そうすれば、県内外からも訪れる人が増え、町はにぎわうと思います。東港の土地利用について、町の考えを教えてください。

また、今より会社がつくられるように呼びかけることを提案します。会社などがあれば、働く人が必要になり働きやすい環境がつかれます。町の現状とこれからの予定を教えてください。

2 東港のアップールについて  
東港の船の出入りの現状について質問します。東港での輸出入が多くなると、東港や聖籠町がもっと有名になると思います。

また、東港のことをよく知ってもらうために海外から輸入される物を見たり買ったりできるようなイベントを開催することを提案します。

**町長** 町の活性化のために大型集客施設は魅力的なものといえますが、実際に施設を建てるとなると、町ではなく民間企業が行うことになりません。以前、プラント4駐車場に、屋内レジャ

ー施設があったのですが、経営不振から撤退し、今では跡形も無くなっているのは残念です。こうしたことから、東港工業地帯内でのテーマパークなどの建設は、今は難しいと思います。

また、東港の工業用地は98%が売却済みです。土地はあるけれども、まだ利用されていないところがあり、町として早く工場を立地させたり、企業経営のために使ってもらったりできるようにがんばっています。

東港の役割のアップールについてですが、町でパンフレットやDVDを作っており、港の機能や、海外からどういう物品が輸出入されているかを町民や子どもたちにも知ってもらおうことのできるアップールしています。

また、東港の船の出入りについてですが、東日本大地震以降、新潟東港が東北地方の生活に必要なものを取り扱い、復旧に大きく貢献しました。これにより新潟東港が見直されて、拠点性も認知されつつあります。

一昨年前に日本海側の総合拠点港になり、LNGと国際コンテナを中心に取り組んでいます。大事な港が聖籠町にありますので、今後とも将来につながるような港のあり方を考えていきます。



# 高等学校の誘致や交通の便の改善を！

たかはし まあや  
高橋 真亜弥 議員（聖籠中学校）

聖籠町には高校がありません。そのため、多くの生徒が新発田市や新潟市の高校へ進学します。もし町に高校があれば、その高校も選択肢に入れることができます。また、私は聖籠町が好きです。だからこそ、町で中学校卒業後も学習に励みたいという気持ちがあります。

そして、町に高校があれば近隣市から多くの生徒が進学し、多くの人に聖籠町を知ってもらえる機会になると思います。高等学校の誘致について検討していただきたいです。

また、聖籠町から一番近い駅は、新発田市の佐々木駅になります。バスも通っていますが、駅を利用するとなると、とても遠く不便です。聖籠町に駅をつくり、通学しやすい環境作りをお願いします。

**町長** 近年の新発田・村上地域の中学校卒業生徒数は、10年で約一、〇〇〇人減少しています。また、県内全体でも中学卒業生徒数が減

少しています。このように生徒数が減少して学校の少規模化が進むことから、学校の統廃合を含めた取り組みを進めています。さらに、学校を設置するには基準があり、広い土地や多くのお金が必要となります。こうした現状を踏まえると、高校を設置するのは厳しい状況です。

また、交通に関して聖籠町では車の免許がない生徒でも駅まで通えるように、平成14年から聖籠エコミニバスを走らせています。聖籠エコミニバスを利用すれば100円で佐々木駅まで行くことができます。

駅をつくることについては、今はほとんど利用されていませんが、黒山駅から藤寄までのあいだに臨港鉄道という貨物鉄道の線路があります。その線路を、将来、駅を整備して貨物や人を運ぶ鉄道として再利用することも考えられます。

これからも交通の便を確保するため、皆さんと一緒に知恵を出し、考えていきたいと思っています。



# 総合病院の設立を！

いし井 ゆうり  
石井 優里 議員(聖籠中学校)

聖籠町には総合病院とよばれるものがありません。そのため、重い病気や怪我のときは町外の総合病院に行くしかありません。町内に病院があれば、急な病気・怪我等にも対応できると思っています。

また、将来、医療に携わっていききたいという小学生や中学生にとっても、聖籠町に総合病院があり、そこで働けるといのは魅力的だと思います。

聖籠町に総合病院があれば、きつと、町全体の産業も良くなり、活気がでるはずです。だから私は、この聖籠町に総合病院を作ってほしいです。

**町長** 現在の医療現場の状況ですが、大都市とその周辺では、民間病院によって地域医療が担われる部分が大きくなり、民間総合病院の持っている医療技術や専門医療の分野が高まっています。

また、新潟県内には、県内全体での医師不足などにより、医療サービスのレベルを一定以上にあげることが困難となっています。

のような状況から、町に総合病院をつくることは難しい現状ですが、プラント4の隣に、大きな病院の建設計画があり、平成27年4月の開院に向けて、いろいろな手続きを病院側が進めています。

この病院は、入院ベッド数が240規模のもので、その多くは療養や回復期リハビリテーションのためのものですが、地域住民の外来診療としても内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科といった5つの診療科目も備えるものを予定しています。

さらに、この病院は、入院が必要な救急医療を担う医療機関となる予定です。この新発田地域では、県立病院と中条中央病院が救急医療をやっており、お互いに輪番制で休日や夜間など重症救急患者を受け入れています。その中にこの病院も加わり、患者の受け入れをできるように準備をしています。

やがては総合病院となることも夢ではないと思っています。



# 緑あふれる聖籠町の維持・発展を！

かねこ みゆき  
金子 みゆき 議員(聖籠中学校)

1 聖籠町に緑を増やしてほしい

最近施設などの建設により、聖籠町から緑がどんどん少なくなっているように感じます。聖籠町は緑にふれ、とても住みやすい所です。私は、将来も大好きな聖籠町で暮らしたいのです。だから、これからも今と変わらない緑あふれる町であってほしいと考えます。

2 スポアイランドの芝の状況を改善してほしい  
サッカーの町として、サッカーを含めたスポーツの普及・発展を目指していくためにも、スポアイランドの芝の状態を改善してほしいです。

**町長** 聖籠町では、サッカーの町として、アルビレックス新潟やJAPANサッカーカレッジと協力しながら様々なスポーツ事業を展開しています。緑は町民の生活にとって大事なものです。その緑を大切にすることは、町民みんなの思いであって、将来に残していかなければならない大事な財産だと考えています。緑豊かな聖籠

町にするために今年度から環境美化整備事業に取り組んでいます。町を花いっぱいにしていこう、きれいな町にしようということ、道路の草を刈ったり、また役場の前もフラワーボックスを置いたり、学校でも頑張っています。今、町が主導していますけど、活動の盛り上がり地域から重なっていけば、花や松などのみどりがいっぱいになり町全体の自然環境がさらによくなっていくことになると思います。多くの町民から緑の大切さや環境美化について家族で話合っていたので、町民みんなで力を合わせて緑豊かな聖籠町となるよう取り組んでいきたいと思います。

次に、スポアイランドの芝の状況ですが、今年は春先の天候不順で芝の発育が遅れ、発育促進のための対応に努めました。先日行われた聖籠夏まつりの頃には、例年の状態に近いほど芝も発育し、団体女子サッカーの北信越大会がスポアイランドを会場に行われたところです。



# お年寄り、学生、子どもが 使いやすい交通を！

うえの ゆうと  
上野 祐斗 議員 (蓮野小学校)

蓮野小学校の学区には、新新バイパスの3つのインターチェンジがあります。交通の便がよいと言われてはいますが、それは車に乗っている人にとってであり、自分で車を運転できない人にとってはあまり便利さを感しません。

最寄りの駅は佐々木駅ですが、車で送ってもらわないと行きづらいです。バスも走っていますが、バスが遠かったりバスの本数が少なかったりして不便です。

そこで、バスの本数を増やしたり、バス停を増やしたりする。また、お年寄りや子どもが使えるような無料バスを走らせる。というように、聖籠町として車の免許を持たない人たちが便利になるような交通整備の企画や予定はありますか。

**町長** 平成14年から車の免許を持たない人たちでも、不便を感じさせないよう、町内の公共施設等に向けて、聖籠エコニバスを走らせています。これにより町では車を運転していなくとも佐々木駅や各種施設へ行くことができるようにしています。

バスの本数やバス停を増やすためには、聖籠町循環バス利用者懇談会というバスを利用している人たちの代表者がバスに関する重要な事項を話し合う会議があり、その会議の中で理解、賛成をしていただくことが重要です。今後バスが便利になるよう本数増加やバス停を増やすよう協議していきたいと思います。

次に、無料バス等の今後の交通整備の企画についてお答えします。

まず、無料バスについては、75歳以上の高齢者であれば、町に申請を出していたら無料で利用することが出来ます。また、小学校入学前の子どもであれば、申請を出さなくとも無料で利用することが出来ます。

そして、今後の交通整備の企画についてですが、10月1日より聖籠町と新発田市のコモタウンの間を1往復する路線を計画しています。さらにコモタウンからは新発田市のあやめバスへ乗り継ぐことで、新発田市への接続を容易にし、もっと交通の利便性を高めていきます。



# 聖籠町の海の環境向上のPRを！

たなか ひょうご  
田中 兵吾 議員 (亀代小学校)

ゴミがあることで、聖籠町の海に来た人に悪い印象を与えてしまいます。海に来てくれた人にきれいな海だと思ってもらうために、町民全員に呼びかけて海岸清掃を行う日を設定し、ゴミ拾いを行うイベントを計画してください。

また、たくさんのお客で行われているようにゴミの持ち帰りについても提案します。

海岸清掃に関して町の取り組みや考えを教えてください。

次に、町の自然をアピールする行事や施設を計画することを提案します。町の自然を知ることが、自分たちの住む町の環境を守り、町のよさをアピールすることにつながると思います。現在の取り組みなどを教えてください。

**町長** 現在、町では、ポイ捨てをさせないようなマナー向上を目的の一つとして、集落の清掃活動を年2回実施しています。その他にも、東港の企業の方々などにも清掃活動を実施してもらっています。質問にある町民全員で行う海岸清掃のイベントは面白いと思います。海を大切に思う気持ちを持った人たちが清掃活動に

取り組んでいます。今後、海岸を大切にしたいという気持ちがある町内外の人に伝わるような海岸清掃を考えていきます。

また、海岸で出たゴミの持ち帰りについてですが、海水浴場のゴミを持ち帰ることも一つの方法ですが、町では、海水浴場専用のゴミステーションを設置し、分別してゴミを捨ててもらっています。他の観光地と違い、一般家庭のごみ収集のついでに回収するため、あまりお金がかからないからです。町として今後海岸のごみを持ち帰ってもらえるようにPRもしていきたいです。

次に、町の自然のアピールについてですが、町は東港開発などの中でも、自然豊かな部分はまだ多くあります。その自然を守っていくことが町の使命です。保存していきたい樹木などを紹介したものを開花マップとしてまとめ、家庭や学校にPRしています。

また、自然を活かした海辺づくりをめざして、散策路やレクリエーション施設など、自然と親しめる空間を創る計画があり、すべて実現するまでには、時間が必要ですが、少しずつ進めていく予定です。



# 「人にやさしい」図書館を！

能登<sup>のと</sup>知樹<sup>ともき</sup> 議員（山倉小学校）

来年でできる新しい図書館には今の図書館にはない、利用しやすい工夫が必要だと考えます。

**町長** 来年開館する新しい図書館ですが、「利用しやすい工夫」をいくつか盛り込んであります。

今の図書館は、段差があったり、通路がせまいところがあったりします。これだと、車いすに乗っている方や、赤ちゃんをベビーカーに乗せて押している方にとって、利用しにくいと思います。また、他の市町村にある図書館の中には、点字の本、大きい文字の本、拡大機や対面朗読室などがあることを知りました。このように、目の不自由な方でも利用しやすい工夫はとても大切だと思います。また、親子で本を読むことができるスペースや部屋があることも楽しめると思います。

まず、図書館への出入口ですが、段差のない利用しやすい施設となっています。図書館の中も通路を車椅子やベビーカーが余裕を持って通れる幅にします。児童コーナーにはおはなし室をつくり、親子で絵本や紙しばいを見ることができそうです。また、防音対応室をつくり、目の不自由な方への対面朗読サービスができるようになりそうです。このような工夫をすることで、「訪れるすべての人にやさしい」図書館をめざします。

新しい図書館は、ちいさな子どもたちからお年寄りまで誰でも自由に利用できる、わくわくする楽しさやスペースがたくさんありますので、おうちの人や友達と一緒に来てください。



# 農業の推進を！

田中<sup>たなか</sup>一翠<sup>いっすい</sup> 議員（聖籠中学校）

聖籠町だけでなく、全国的にも農業従事者は高齢者の割合が高いと聞きます。農業は聖籠町を担う産業のひとつでもあると思うので、僕は「農業の推進」を提案します。

もらえるだろうと思います。ただし、生徒の皆さんが関わる時間以外でも誰かが手入れをしなければなりません。そう考えると学校付近に農園を作らなくても、既にある農園にご協力いただいて栽培を手伝うというような方法が考えられます。また授業時間以外にも作業をするため、「農業クラブ」のような部活動も方法の一つだと思います。

人材の確保のための取り組みとして、「中学校近隣に農園をつくる」ことはどうでしょうか。学校の近くに、果物など聖籠町の特産物を栽培する農園を作り、小学生や中学生が授業の中で農業体験を行います。そうすることで、農業に関心をもち、聖籠町の産業に関心をもち人が増え、活性化していくのではないのでしょうか。

様々な面から検討する必要がありますが、「農業に関心を持ってもらう」ということは大変重要なことです。ので、若い世代が農業に関心を持ってもらう方法があるか検討してみたいと思います。

**町長** 聖籠町に限らず農業従事者の半数以上が高齢者であることは、農業を推進するうえで重要な課題です。人材確保のための取り組みとしての「中学校近隣に農園を作る」という提案も大変興味深い内容です。

**再** 高齢者の農家への支援を教えてください。

これまで各小学校では水田での米作り体験等で、生徒の皆さんに農業へ関心を持ってもらう機会を設けてきました。

**町長** 世帯の子どもが後を継いでくれれば一番いいと思います。しかし、誰も後継ぎがない場合、協力関係を地域の中に確立して高齢者世帯の皆さんを助けていくという方法や、経営者として人を雇って栽培していくという方法もあります。そのように農家の皆さんの積極的な取り組みによって町が支援することが見えてくると思います。

そこから一步進んで中学校近隣に農園を作り、生徒を中心として町の特産物を栽培するということができれば、大いに関心を持って





# 海岸の美化・マナーの向上のための取り組みを！

えんどう みゆ 議員（聖籠中学校）

1 ゴミ拾い活動の実施  
 聖籠町の特徴として、広大な海が広がっていることがあげられます。多くの人が訪れる海や砂浜が汚れてきているように感じます。ぜひ、ゴミ拾い活動のようなものを多く取り入れ、地域の方や聖籠町民以外の海の利用者のマナーの向上も図られるような取り組みをお願いします。

2 ゴミを捨てないための活動の実施  
 きれいに保っていくための方策として、利用者のマナー向上を目指すような看板の設置、パトロールや呼び掛けなども必要ではないでしょうか。

**町長** 一部の心無い方が、砂浜にゴミを放置していることがあります。こういったことは非常に残念なことです。

町では、ポイ捨てをさせないマナーアップを目的の一つとして、町内クリーン作戦と題した清掃活動を集落や東港立地企業を中心に年2回実施しています。併せて、ボランティア団体や各種スポーツ団体などが海水浴シーズンの海岸清掃活動を実施しています。

ポイ捨てされたゴミを拾うというのは、なかなか大変なことですし、その大変さが分かるからこそ、ゴミ拾いに参加した人はポイ捨てなんて絶対にしないとだと思います。その気持ちをできるだけ多くの人にわかっってもらうことが、海の利用者のマナー向上に繋がっていくと考えています。海岸に限らず、ポイ捨て防止の意味でマナー向上のためにもより多くの方がゴミ拾い活動に参加してもらえよう町がバックアップしていきたいと思えます。

次に、ゴミを捨てないための活動の実施についてですが、看板の設置やパトロールの実施などは非常に有効な方法であると思います。海岸線のゴミ対策として、ポイ捨て防止看板の設置や海岸監視員等によるパトロールを実施しています。しかしながら、残念なことにそれでもポイ捨てをされてしまっているというのが今の状況です。

いつでもきれいな聖籠町の海岸となるよう、海岸を利用する方、地域の方、そして町の三者で協力して取り組んでいきたいと思えます。



# 他の市町村と合併しないでください！

とがわ しょうま 議員（聖籠中学校）

合併してほしくない理由は2つあります。

1つ目は、財政的な面についてです。聖籠町は財政的に豊かであると聞いています。もしも合併してしまつたら、今まで聖籠町からできていたことができなくなつたり、一人一人の金銭的な負担が大きくなつたりするかもしれません。ずっと聖籠町に住んでいますが、とても住みやすく、嫌だと感じたことはありません。だから、財政面を考えると、町民のためにも合併してほしくありません。

2つ目は、聖籠町がなくなつてほしくないということとです。僕は、聖籠町で生まれ育ち、聖籠町で暮らしてきました。合併し、規模が大きい自治体になれば、町民一人一人の声が届きづらくなると思います。良い意見や要望があつても、採用されることは少なくなるでしょう。聖籠町がなくなつてしまつと、独自の文化や名産の果物などの存在が薄れてしまう気がします。

これら2つの理由から、聖籠町には他の市町村と合併してほしくありません。

**町長** 聖籠町では、平成14年に「当面は市町村合併をしない、聖籠町独自のまちづくりを進めて行く」とにいたしました。また、町民の皆さんに合併について知っていただき、関心を持っていただくため、平成13年には広報を通じて合併のしくみや住民サービスの提供状況などについて、情報提供を行ってきました。さらに、合併に関する状況をまとめた冊子を作成し、配布しました。その後、合併についての集落説明会を行い、意見交換をしました。このように長い期間、研究、情報提供や説明会などを行うとともに、町民の皆さんの意見を反映させるため、全世帯と全中学生、東港企業の方々等にアンケートを実施しました。その結果、町民アンケートでは7割以上の方が反対であり、また、町議会でも合併をしないことを決定いたしました。町民の皆さんの意見をふまえて、当面は合併しないで独自の町づくりを進めることとしておりますが、厳しい財政状況であり、限られた予算の中で町民に効果的な行政サービスを行い、今後皆さんが誇れる町づくりを進めていきます。



## 平成 25 年度聖籠町子ども議会 議事日程

平成 25 年 8 月 23 日 (金) 午前 9 時 30 分開議

- 1 開会・開議
- 2 会期の決定
- 3 町長あいさつ
- 4 町政に対する一般質問
 

(1) 蓮野小学校	6年	枝尾 颯汰	議員	・・・	4 P
(2) 山倉小学校	6年	遠藤 乃愛	議員	・・・	4 P
(3) 亀代小学校	6年	渡辺 日向	議員	・・・	5 P
(4) 聖籠中学校	2年	高橋 真亜弥	議員	・・・	5 P
(5) 聖籠中学校	3年	石井 優里	議員	・・・	6 P
(6) 聖籠中学校	3年	金子 みゆき	議員	・・・	6 P
(7) 蓮野小学校	6年	上野 祐斗	議員	・・・	7 P
(8) 亀代小学校	6年	田中 兵吾	議員	・・・	7 P
(9) 山倉小学校	6年	能登 知樹	議員	・・・	8 P
(10) 聖籠中学校	2年	田中 一翠	議員	・・・	8 P
(11) 聖籠中学校	3年	遠藤 美夢	議員	・・・	9 P
(12) 聖籠中学校	3年	外川 昇磨	議員	・・・	9 P
- 5 教育長の講評
- 6 閉議・閉会

